



# 江戸相撲の風景

## Scenes of EDO SUMO

2026年  
5/10 (日) - 8/20 (木)  
(前期: 5/10-6/18、後期: 6/23-8/20)

本場所中 (5/10-24): 12時30分~16時00分  
本場所以外: 10時00分~16時30分 (最終入館16時00分)  
※休館日がございます。必ずHPでスケジュールをご確認ください。  
※大相撲本場所、引退相撲等の開催日については入場券が必要です。

開館スケジュール



相撲博物館  
SUMO MUSEUM

[上] 歌川豊国 (三代)「鬼面山 不知火」、[下] 歌川豊国 (三代)「関取道中之図」





雷電為右衛門使用の道中羽織

# 江戸相撲の風景

## Scenes of EDO SUMO



歌川豊国(三代)「秀ノ山雷五郎」



稲妻雷五郎使用の化粧廻し

今日の大相撲では、多くの力士による熱戦が繰り広げられています。現在の興行のルーツとなったのが、江戸の大相撲です。江戸時代も力士やその取組が人気を博し、やがて横綱が登場しました。

本展示では、江戸の横綱にまつわる資料の他、力士や相撲の活気を描いた様々な錦絵をご紹介します。さらに、現在でも史上最強力士の論争に名が上がる大関、雷電為右衛門ゆかりの品も展示いたします。今日につながる相撲文化の源流を、どうぞお楽しみください。

Today's Sumo tournaments see many rikishi engage in heated battles. The roots of sumo in its current form date back to the Edo period, when the popularity of rikishi and matches grew and the status of yokozuna was established.

In addition to materials related to yokozuna who were active in the Edo period, this exhibition will display a number of nishiki-e prints depicting the dynamic movements of rikishi and sumo. Furthermore, items related to Raiden, an Edo period ozeki whose name is still debated today as the strongest rikishi in history, will also be on display.

展示解説のお知らせ

6/4(木)・7/28(火)  
各日14:00～(30分程度)

予約不要、相撲博物館展示室内に  
お集まりください。

歌川国郷「両国大相撲繁栄之図」

# 相撲博物館

## SUMO MUSEUM

〒130-0015  
東京都墨田区横網1-3-28  
両国国技館内  
TEL 03-3622-0366



English

<https://www.sumo.or.jp/KokugikanSumoMuseum/>



野見宿禰神社  
授与所開設



御守、おみくじ、絵馬など各種授与品のお取り扱いがございます。授与品は状況により変更になる場合がございます。